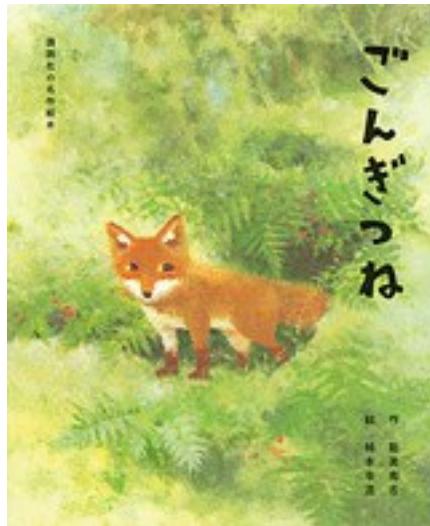


講談社の名作絵本 ごんぎつね



[講談社の名作絵本 ごんぎつね 下载链接1](#)

著者:新美 南吉

出版者:

出版时间:

装帧:单行本

isbn:9784062181594

いたずら狐のごんは、兵十が川で捕った魚やウナギを逃してしまいます。しばらくして兵十の母親の葬列を見たごんは、そのとき逃がした魚やウナギは、兵十が病気の母親のためにとっていたのだと思えます。

なんとかおわびをしたいと思う、ごん。けれど、ぬすんだ鰯を兵十の家になげこんで、かえって迷惑をかけてしまいます。ごんは心を入れ替え、自分の力で償いをはじめます。

けれど兵十は毎日届けられる栗や松茸の意味がわからず、神様のおかげだと思い込んでしまいます。

翌日、ごんが家に忍び込んだことに気づいた兵十は、またいたずらに来たのだと思いこみ銃口をむけます……。

「ごん、おまえだったのか。いつも、栗をくれたのは。」というラストは、涙なしには読めません。教科書でもおなじみの新美南吉の名作を、柿本幸造のやわらかくあたたかい絵で絵本化。

りょうしんのいないこぎつね「ごん」は、村へでてきてはいたずらばかりして村人をこまらせしていました。ある日、兵十がびょうきのおかあさんのためにつかまえたうなぎを、いたずらでとってしまいます。ごんはつみのつぐないをするのですが…。

作者紹介:

目录:

[講談社の名作絵本 ごんぎつね 下载链接1](#)

标签

新美南吉

絵本

评论

日本小学生的课文也太悲伤了。。。

[講談社の名作絵本 ごんぎつね 下载链接1](#)

书评

[講談社の名作絵本 ごんぎつね 下载链接1](#)